

タワーレコード フリーマガジン 『musée』・SPIRAL 『CAY』 合同企画・制作イベント第三弾 *intoxicate ~ GODARD MINUS ONE 開催！！*

タワーレコード株式会社(本社:東京都品川区/代表:キース・カフーン)では、2002年6月8日(土)に、弊社フリーマガジン『musée(ミューゼ)』¹とSPIRAL『CAY(カイ)』²(レストラン BAR・SPIRAL B1F/南青山)の合同企画・制作イベント「intoxicate(イントキシケイト)」の第三弾、「intoxicate ~ GODARD MINUS ONE(イントキシケイト ~ ゴダールマイナスイワン)」を開催することとなりました。

「intoxicate ~ GODARD MINUS ONE」は、昨年12月26日(水)に開催した「intoxicate ~ Red“tight skin”」、2002年2月24日(日)開催の「intoxicate ~ White“soft skin”」に続く第三弾イベントとなります。今回のイベントでは、2002年4月~6月にかけて、新作ならびに旧作を含め8作品が上映されるゴダールへの想いを、ゴダールを愛してやまないアーティスト達³が朗読やライブ、ビデオ作品と様々な形態で表現します。ゴダール作品はジャンルを問わず様々な音楽を効果的に使用するという特徴があり、これは『musée』がこれまでジャンルにとらわれずに様々な音楽を紹介してきたという編集方針と共通する部分があります。イベント内容は、『ユリイカ』で2000年カンヌ国際映画祭にて国際批評家連盟賞とエキュメニク賞を受賞された青山真治監督がこのイベントのために制作したビデオ作品の上映、そして夏木マリ、内田也哉子、坂本美雨という豪華な3人がゴダールへのオマージュ(尊敬/敬意)をそれぞれのアプローチで朗読。さらに、東京ザヴィヌルパッハをはじめ、KAMA AINA、COMBO PIANO、HAYASHI YUKIKOのスペシャルユニット、ゲストに戸川純を迎えてのホッピー神山の新曲発表、と個性的かつ魅力的なアーティスト達のライブで構成されています。

本イベント「intoxicate (イントキシケイト)」は、タワーレコードのフリーマガジン『musée』がCAYの協力を得て企画・制作するイベントです。イベントに登場するアーティストや音楽については、『musée』の編集方針をそのまま反映、ジャンルやカテゴリー、有名無名にとらわれず、様々なキャスティング、セレクトを行なっていきます。このイベントを通して、既存の価値観では捉えにくい視点、既存の価値観では生まれにくい好奇心を提供することによりタワーレコードのユーザーに対し、更なる音楽への興味・関心を促します。

タワーレコードでは、年4回の定期的な開催を予定し、20代後半から40代後半をターゲットに、大胆な企画を行なっていきます。次回開催は9月を予定しております。

1 『musée』(ミューゼ)

1996年創刊。現代音楽・クラシックを紹介するフリーペーパーとして出発する。当初から国内では紹介される機会のなかった分野の音楽情報を掲載し、若い評論家、若いリスナーから熱烈な支持を受け、今日に至る。現在では音楽以外の情報(映画、本、伝統芸能など)に加え、ユニークな連載記事(楽しいお買い物紹介“トロピック・アピタイト”、音楽と言葉“メタムジーク”など)を掲載するなど、単なる情報誌という枠を超えて、読み物として楽しむ読者も多い。1999年にはECMというレーベルの30周年にあわせて、独自のイベントを企画し、話題となった。音楽を基本テーマとして、様々な話題を取り上げるという編集方針により、世代を超えた読者にアプローチしている。

2 『CAY』

東京のアートの発信地、青山スパイラルの1フロアとして、ビル創設の16年前が創業。高級タイ料理のレストランとしてスタートしたCAYは、当初よりワールドミュージックを中心としたライブ・イベントを開催し、多様な文化の発信拠点として盛況となる。現在は、平日月曜日から金曜日まではタイレストランとして営業、土日祝日は多目的なイベントスペースとしてジャンルを問わず、音楽を中心とした様々なイベントを開催中。そのイベント内容は、ワールドミュージックから最先端のエレクトロニックミュージックまで多岐に渡り、確実に東京の今を感じさせる。

3 出演アーティストの詳細は、別紙ご参照下さい。

名 称 : intoxicate ~ GODARD MINUS ONE (イントキシケイト ~ゴダール マイナス ワン)

日 時 : 2002年 6月 8日(土)

17:00/オープン 18:00/スタート 予定 *終了予定 22:25 (出入り自由)

場 所 : CAY (SPIRAL B1F/南青山)

出演アーティスト: 青山真治 映画監督

・内田也哉子 主婦やや文筆家

・Kama aina(青柳拓次)

・COMBO PIANO(渡辺琢磨)

・Hayashi Yukiko(from CHORO AZUL)

・坂本美雨 歌手

・東京ザヴィヌルバツハ

・夏木マリ 俳優

・ホッピー神山 音楽家、キーボーディスト

・LOKI グラフィック・デザイナー

全 11 アーティストのプロフィールは別紙 3 ページ目をご参照下さい。

チ ケ ッ ト : 前売 ¥3,300(税込) 当日: ¥3,800(税込)

・CAY (03-3498-5790)

・チケットぴあ (03-5237-9999 ・ Pコード:136-525)

・ローソンチケット (03-5537-9999 ・ Lコード:36008)

・タワーレコード渋谷店

・タワーレコード新宿店

お 問 合 せ : CAY (03-3498-5790)

企画・制作 : タワーレコード株式会社 ミュゼ編集部 / 株式会社ワコールアートセンター SPIRAL

特 別 協 賛 : エプソン販売株式会社

協 賛 : 株式会社イーストワークエンタテインメント / 株式会社ユナイテッドアローズ / 株式会社コルグ
パール楽器製造株式会社

協 力 : 株式会社ザジ フィルムズ / 株式会社フランス映画社 / 株式会社ブレノン・アッシュ
株式会社日本スカイウェイ

タワーレコード 会社概要

設立 1981年12月

資本金 2,500万円

事業内容 CD・ビデオ・書籍等の輸出入・卸・小売

役員 代表取締役社長 ラッセル・エム・ソロモン

常駐代表取締役 キース・カフーン

従業員数 1,620名 (うち正社員 365名)

沿革

1979年、アメリカのMTS社の日本支社としてスタートし、1981年に日本法人タワーレコード株式会社となる。日本国内に51の直営店舗を展開。タワーレコードは現在、アメリカ国内にCD/VIDEOストアを96店、マガジン4店、他ヨーロッパ、アジア諸国店舗を含め全世界に約230店舗を展開する世界でも有数のAVソフト販売チェーンである。

お問い合わせ

タワーレコード(株)広報室 木田暁子 伊早坂恵美 TEL: 03-3496-5009 FAX: 03-3496-5022

E-mail: press@tower.co.jp <http://www.towerrecords.co.jp/>

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-21-1 日本生命渋谷ビル9F

別紙：アーティスト プロフィール artist profile

●青山真治 AOYAMA Shinji (映画監督)

1964年生まれ。福岡県北九州市出身。高校時代パンクバンド「UP BEAT UNDERGROUND」を結成、後に「UP BEAT」としてメジャーデビューを果たす。立教大学卒業。助監督、批評家を経て、96年『Helpless』で商業映画デビュー。『チンピラ』『WILD LIFE』『冷たい血』『SHADY GROVE』などのあと、2000年、『EUREKA』がカンヌ国際映画祭で国際批評家連盟賞とエキュメニク賞を受賞。2001年、処女小説『ユリイカ』が三島賞を受賞。

●内田也哉子 UCHIDA Yayako (文筆業)

1976年、父・内田裕也、母・樹木希林の間に東京で生まれる。幼少の頃より、東京・ニューヨーク・ジュネーヴ・パリなどで転々と学ぶ。19歳で帰国、本木雅弘と結婚。現在、二児の母であり、育児のかたわら文筆活動を行う。著書に『ペーパー・ムービー』（朝日出版社）。翻訳絵本に、マーガレット・ワイズ・ブラウン著『たいせつなこと』がフレーベル館より刊行。また、『月刊リトル・モア』で連載していたエッセイが単行本『会見記』となり、リトル・モアより好評発売中。TERRI WEIFENBACH(テリ・ワイフェンバッハ)写真集『HUNTER GREEN』(NAZRAELI PRESS)の序文など。

●kama aina + COMBO PIANO + HAYASHI Yukiko

●kama aina (青柳拓次)

DOUBLE FAMOUS、LITTLE CREATURESのメンバー。ソロのkama aina名義では映画音楽やコンピレーションを制作。言葉のイベント『BOOK WORM』を山崎円城らと主宰。雑誌『BOOK WORM』が好評発売中。

●COMBO PIANO (渡辺琢磨)

異才ピアニスト/コンポーサー、渡辺琢磨によるユニット<コンボ・ピアノ>。キップ・ハンラハンとの親交も深く、彼のディレクションによるアルバムをリリースするなど、その活動からは目が離せない。

●Hayashi Yukiko (from CHORO AZUL)

今夏、オリジナル・アルバムのリリースを予定しているCHORO AZULのヴォーカル。そのパフォーマンスは、新宿リキッドルームで開催されているLOVERS ROCKなどでも好評をほくし、注目を浴びている。

●坂本美雨 SAKAMOTO Miu (歌手)

1980年5月1日生まれ。9歳まで東京育ち。父・坂本龍一、母・矢野顕子。1990年9歳のときに、両親が音楽活動の拠点をニューヨークに移したことをきっかけに家族で移り住む。1997年1月、Ryuichi Sakamoto featuring Sister Mとして『The Other Side of Love』を歌う。現在、日本・ニューヨークを往来しながら猫と一緒に音楽漬けの生活をしている。最近ではNHK BS2『新・真夜中の王国』やJ-WAVE『LIFE@SAFARI』のパーソナリティなどもつとめている。4/24にはSUGIZOプロデュースによるシングル『sleep away』もリリース。

●東京ザヴィヌルバッハ TOKYO ZAWINUL BACH

坪口昌恭(key) 菊地成孔(sax, DJ)。99年1月、坪口のアイディアを菊地がプロデュースする形態で結成。リアル・タイムに変化する打ち込みリズム隊+インプロヴァイザーという形態で、クラブDJフィーリングとジャジーな魅力を併せ持つ新ユニット。4月に新アルバム『COOL CLUSTER』をEAST WORKS ENTERTAINMENTより発売。

●夏木マリ NATSUKI Mari (女優)

《絹の靴下》で歌手デビューし、舞台、映画、TVなど、さまざまな場で活躍。近年は、『印象派』のシリーズなど個性的な舞台を展開。小西康陽氏と組んでの音楽活動も活発化し、この9月には小西氏のレーベル、readymadeよりアルバムの発売を予定している。現在NHK金曜時代劇、平岩弓枝の『お美也』にたき役で出演中。漫画家・松本大洋の名作を、曽利文彦が監督を務め映画化した『ピンポン』に出演。(夏休み公開予定)

●ホッピー神山 HOPPY KAMIYAMA (音楽家、キーボーディスト)

1960年生まれ。19歳でデビュー。いくつかのバンドを経て83年に「PINK」を結成。91年に初ソロアルバム「音楽王」発表。翌年には単身N.Y.に渡り「音楽王2」を完成させる。しかし、本当に自分がやりたい音楽を、本当の意味でクオリティの高いミュージシャンを東京から世界に広げていく為に93年4月に自らの名を冠したレーベル「GOD MOUNTAIN」をスタート。現在まで20数枚のCDをリリース。その傍ら、真の意味でプロデュースワークを行うプロデューサーとして、氷室京介、小泉今日子、レピッシュ、布袋寅泰、CHARAなど、多数の有名ミュージシャンの作品作りを手がけている。

●LOKI (グラフィック・デザイナー)

菊池元淑。ex MMMG。グラフィック・デザイナー。シンバルズ、須永辰緒、キュービズモグラフィコ、寺岡呼人、ラントスター等のレコードのジャケット・ワークをメインに活動。最近のVJワークはESCALATOR RECORDS presents CAPRICEが挙げられる。